

# 平成24年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	特定不妊治療費助成事業	事業コード	2067
-----	-------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標 健康で長生き、笑顔で暮らすまちづくり	属性 保健医療	基本施策 健康づくりを充実する	実施施策 健診・相談体制の充実	4042
	重点施策体系	重点施策 「人の増えるまち」づくり	分類(大) 安心して生み育てられる子育て環境の充実	分類(小) 子育て		812

PLAN(計画)	部署名	健康課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	不妊治療のうち、体外受精および顕微授精については、医療保険が適用されず治療費が高額なため、その経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やす。				
	概要	一定の要件に該当する方に、1年度につき1回あたり10万円を限度に年3回まで、助成金を交付する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	内容 特定の不妊治療（体外受精および顕微授精）を受け、助成金の交付対象者となり得る夫婦の申請により、1年度あたり3回までの助成をおこなう。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	制度の周知活動（広報・HP掲載回数）		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	助成対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100			
	計算根拠	助成件数/申請件数		達成率(%)	100	100			
				ランク	A	A			
実数値				73/73	68/68				

事業費/千円	区分	H23(2011)	H24(2012)	事業委員	正規職員		タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,000	4,000		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	6,135			※所要時間	96		経費区分	補助費等
	繰越額	0	0						

# 平成24年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

C E N T R A L E V A L U A T I O N ( 価 値 評 価 )	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	啓蒙活動や健康診査と同時受診による利便性の向上などに努めている。	
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	少子化対策として、重要な施策である。	
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。  <input type="checkbox"/> あり	主体	県	
		事業名	特定不妊治療費助成事業	
		根拠	県の事業の申請後に、残りの治療費を助成しており、経済的負担軽減のために必要である。	
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。  <input type="checkbox"/> ない	所管課		
	事業名			
	根拠	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能		
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。  <input type="checkbox"/> ない	根拠	経済的負担を軽減し、こどもを生み育てやすい環境づくりを推進するための助成制度であるため、コストを削減することは困難である。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。  <input type="checkbox"/> なし	根拠	経済的負担を軽減し、こどもを生み育てやすい環境づくりを推進するための市独自の助成制度であるため。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。  <input type="checkbox"/> ない	根拠	対象となる市民が限定されているため。		

A C T I O N	【平成24年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成25年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成24年度取組み	保険診療がきかず高額な診療となる体外受精、顕微授精に対して、1回あたり10万円を限度に、年度内3回を限度に助成している。	平成25年度計画	保険診療がきかず高額な診療となる体外受精、顕微授精に対して、1回あたり10万円を限度に、年度内3回を限度に助成している。

【H25提案型市民主役オープン事業実施】						<input type="checkbox"/> 不可能	〈不可能選択理由〉 団体補助等の特定の相手先への補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
取組選択	-	不可能	不可能	不可能			
実施状況	-	未実施	未実施				